

## 九州大学「次世代研究スーパースター養成プログラム」の開始について

**概要**

平成18年度文部科学省科学技術振興調整費「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」事業（期間：原則5年間、事業予算：2～3億円）に、九州大学が提案した「次世代研究スーパースター養成プログラム」が採択されました。本養成プログラムに基づき、九州大学は、自立性・独創性を兼ね備え次代をリードすることのできる研究スーパースターの養成に全学を挙げて取り組みます。

**背景**

平成18年度に新設された「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」事業は、科学技術のさらなる発展のために、若手研究者が自立して能力を発揮できる環境整備に取り組む研究機関を支援するものです。九州大学は本事業に「次世代研究スーパースター養成プログラム」を提案し、採択される運びとなりました。

**内容**

本養成プログラムは、テニユア・トラック制度(\*)を前提とした若手研究者育成策の確立を主な目的としていますが、同時に、新研究分野の開拓、および既存の研究組織の改革をも意図しております。

養成の対象となる優秀な若手研究者は、国際公募により国内外から広く募集します（計16名を採用予定、7月1日より公募開始済）。採用者はスーパースタープログラム（SSP）学術研究員（特任助教授）として、原則として5年間の期限付きで雇用されます。このSSP学術研究員は、本学において進められる6つの研究プロジェクトのいずれかに参加して研究活動を行うこととなります。プログラム実施期間中、SSP学術研究員は、研究スペース・設備・研究費等の研究環境、給与面での相応の処遇等のさまざまな支援を受け、自立して独創的な研究を進めることが可能となります。また、学外の有識者により、SSP学術研究員の研究状況は定期的にチェックされ、随時アドバイスがなされます。そして、期間終了後には、SSP学術研究員に対して業績審査が行われ、優秀と認められれば本学の准教授(\*\*)として採用されることとなります（業績優秀ならば期間途中の准教授採用もあり得ます）。採用された准教授は、次代を担う研究スーパースターとして世界レベルでの活躍が期待されます。

**効果**

SSP学術研究員が参加する研究プロジェクトは、本学において今後強化されるべき新分野の開拓、及び既存の研究組織がもたらす弊害の打破を企図して、本学内における真剣な議論を経て決定されたものです。従って、本プログラムの遂行により、研究スーパースターの養成はもちろんのこと、九州大学全体のさらなる発展にも寄与することとなります。

**参照URL**

SSP学術研究員の公募について（九州大学）

<http://www.srp.kyushu-u.ac.jp/ssp/index.html>

**【用語解説】**

\*テニユア・トラック制度...若手研究者が厳正な審査を経てより安定的な職を得る前に、任期付の雇用形態で自立した研究者としての経験を積むことができるしくみ。

\*\*准教授...学校教育法の改正（平成19年4月1日施行）により、新たに置かれる教員の職。

**【お問い合わせ先】**

研究戦略企画室 上瀧 恵里子  
電話：092-642-4369  
FAX：092-642-7090  
Mail：office@srp.kyushu-u.ac.jp

## 人材システム改革構想・概要

提案構想名	「次世代研究スーパースター養成プログラム」
総括責任者名	「 総長 梶山千里 」
提案機関名	「 国立大学法人 九州大学 」

### 機関の現状

#### 研究ポテンシャル

本学は、人社系・理工系・生命系等の広範な領域に約 3000 人の研究者を擁する総合大学である。また、戦略的教育研究拠点育成プログラム 1 拠点・21 世紀 COE プログラム 9 拠点を有し、世界的研究拠点の形成が進められている。

#### 若手研究者育成に関する取組の実績

平成 16 年度より、優秀な若手研究者 20 名に対する 3 年間の特任助手採用支援による研究時間確保の制度（研究スーパースター支援プログラム）を、また、平成 17 年度より、若手研究者による文理融合型研究に対する公募型学内助成制度（P&P D-type 区分）を導入している。

#### 人材システム（任期制、年俸制の導入等）の概要

任期制については、既に 12 の部局が導入し、九州大学全体では 47%の教員について適用している。また、年俸制については、現在のところ特任教授 6 名に対して適用している。

### 人材システム改革構想

#### 人材システム改革の目的

学術研究活性化のためには、特に若手研究者の独創性が存分に発揮されることにより、新たな研究領域が創出されることが重要である。「次世代研究スーパースター養成プログラム」は、将来を嘱望される優秀な若手研究者が、出身講座や他の研究者からの支配的干渉から自立して独創的な研究に専念できる環境整備・支援体制構築を全学規模で行い、以て研究状況の活性化に寄与することをその目的とする。

#### 本プログラムの概要

まず、本プログラムに参加する学内部局を、その組織改革・新領域開拓構想につき審査し選定する。次に、国内外からの公募を通じて、若手研究者を「スーパースタープログラム（SSP）学術研究員」として期限付きで雇用し、研究スペース・設備・時間・費用等の研究環境、給与面での相応の待遇保障、雇用期間終了後のテニュア・ポスト（准教授）の確保、等の支援を行い、研究に専念させる。これらのサポート機関として、**若手研究者養成部門**（SSP 学術研究員の組織上の所属機関。全学管轄として各部局から独立）・**外部有識者委員会**（研究活動につきヒアリング・アドバイスをを行う）・**若手研究者支援室**（事務上のサポートを行う）を新規に設置して、学内各部局から独立した支援体制を構築し、他の研究者からの支配的干渉を抑制する。養成期間終了時には、研究業績・将来構想等に関する審査を経た上で准教授へと昇任させる。そして、本プログラムを学内各部局における人事制度に組み込み、全学規模での人材システム改革と連動させる。

#### 実施期間終了後の将来構想

実施期間終了後も、学内経費（総長裁量経費等）により本プログラムを継続・定着させ、さらに参画部局の拡大を図ることで、優秀な若手研究者の育成・確保、教員の流動化促進、学内における組織改革・新領域開拓の促進、等を引き続き推し進める。

### 人材システム改革における達成目標（ミッションステートメント）

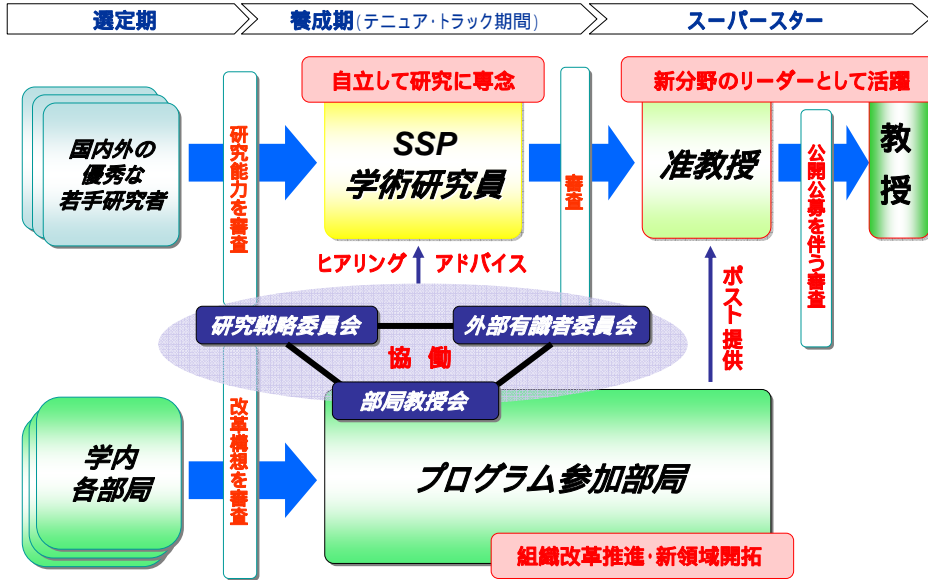
#### 中間時（3年目）

支援体制整備を完了し実際に運営して、そのノウハウを蓄積する。また、養成期間内であっても、早い時期に開花し優秀な業績を収めるに至った SSP 学術研究員は、既定の養成期間（5 年）を待つことなく、審査を経て早期に准教授に昇進させる。

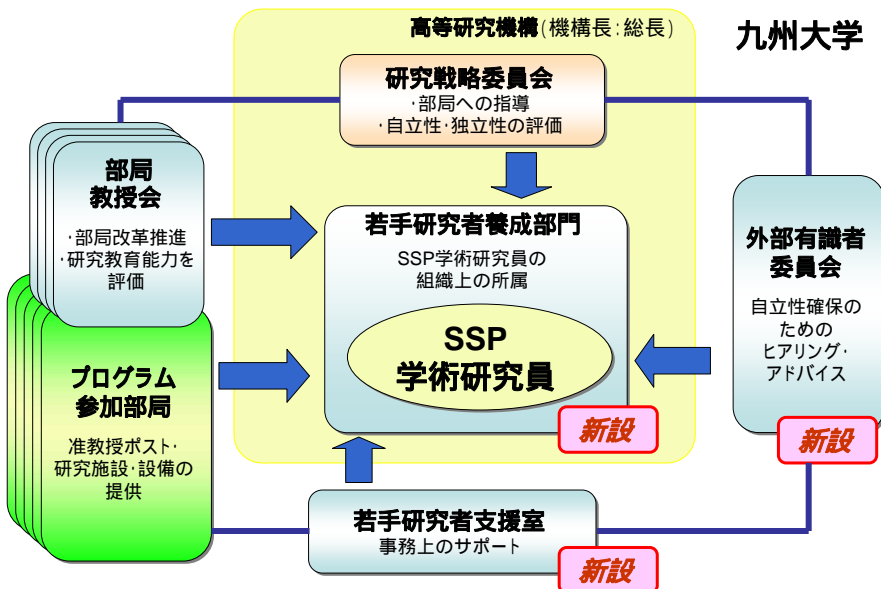
#### 終了時（5年目）

採用された SSP 学術研究員を、審査を経た上で研究スーパースターとして准教授へ昇任させ、あるいは実績を携えて他機関へ転出させる。また、実施実績を支援体制の運営にフィードバックしてプログラム内容の改善を図りつつ、その後のプログラム継続・拡大のための学内予算の措置を行う。さらに、新規に参画する部局を募るとともに、新たな SSP 学術研究員の公募を行って本プログラムの実施規模を拡大し、人材システム改革をさらに促進する。

## 次世代研究スーパースター養成プログラム 概要



## 次世代研究スーパースター養成プログラム 実施体制図



## 九州大学「次世代研究スーパースター養成プログラム」研究プロジェクト一覧

2006/07/21

分類	プロジェクト名称 概要	募集人数 ・分野	詳細情報・照会 連絡先
A	<b>時空間階層生命科学</b> 生体には原子レベルから細胞・生体組織レベルに至るまで、さまざまな時空間スケールで静的・動的構造が階層的に存在し、これらの競合と協調により高度で多彩な生命現象が営まれている。本プロジェクトでは「生命の時空間階層構造」をテーマに、従来の学問分野および研究手法の枠組みを越えて、統一かつ学際的な研究を展開する。具体的には以下のテーマで研究を行なう。(1)生体分子など大規模な系の定量的電子状態理論、(2)複合極限環境下での生体物質系の物性、(3)生体膜リン脂質の代謝制御と細胞内輸送、(4)生体分子システムの動的パターン形成。	4名 量子化学、 生化学、 ソフトマター 物理学	理学研究院 教授：木村 康之 092-642-2534 kim8scp@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp
B	<b>数学・数理科学における未解決問題挑戦プロジェクト</b> 数学および数理科学における次世代のスーパースターの養成を目的とし、未解決問題の解決に専念することで、将来の数学の発展と深化、そして数理科学の新領域の創出を目指すものである。	2名 数学、 応用数学、 統計学、 計算機科学	数理学研究院 教授：若山 正人 092-642-2775 mathDean@math.kyushu-u.ac.jp
C	<b>ヒト幹細胞システムの医学的応用への研究拠点の創出</b> 各臓器分野(造血系、神経系、循環器系、消化器系)における幹細胞・前駆細胞、および癌幹細胞を同定し、その機能解析を行う。	4名 造血幹細胞、 神経系幹細胞、 心筋・血管系幹細胞、 消化器系幹細胞	大学病院 教授：赤司 浩一 (秘書：山口聖子) 092-642-5947 seikoy@cancer.med.kyushu-u.ac.jp
D	<b>ヒューマンセンタード ロボティクスプロジェクト</b> 本プロジェクトでは九州大学におけるロボティクスリサーチコアを中心としたこれまでのロボット研究体制に加え、IRT(IT+RT=Robotic Technology)、人間支援ロボティクス、ロボティクスセンサなど新分野を強化し、人間とロボットの共生社会実現のための研究=ヒューマンセンタードロボティクス研究を推進する。	1名【注】 ロボット 工学	工学研究院 教授：山本 元司 092-802-3173 yama@mech.kyushu-u.ac.jp システム情報科学研究院 教授：長谷川 勉 092-642-4063 hasegawa@irvs.is.kyushu-u.ac.jp
E	<b>社会情報基盤構築</b> 人々が安全で安心して生活でき、快適で公正かつ適度な競争を行える社会を支える各種社会システムの神経系となる社会情報基盤を構築する指導原理と技術体系を提案する。また、社会制度や規則などとの連携も考えた総合的な社会情報基盤の設計指針を確立し、社会システムの再構築に対して技術的な側面から貢献し、今後の社会情報基盤を構築をリードする技術者や研究者の育成拠点を構築する。	2名【注】 情報科学、 ソフトウェア 工学、 情報通信 工学、 社会工学	システム情報科学研究院 教授：安浦 寛人 092-583-7620 yasuura@csce.kyushu-u.ac.jp
F	<b>生体防御におけるポストゲノムサイエンス</b> 生体防御医学研究所では「生体防御」研究というユニークな研究課題のもとに生命現象の本質に迫る研究を展開している。本プロジェクトではポストゲノム3領域であるプロテオミクス、ケミカルバイオロジー、バイオイメージングの3分野の人材確保を行い、新たな生命科学研究のための技術開発と基礎研究を実施する。分野名にとられない意欲的な応募も歓迎する。	3名 プロテオミクス、 ケミカルバイオロジー、 バイオイメージング	生体防御医学研究所 教授：吉開 泰信 092-642-6770 yoshikai@bioreg.kyushu-u.ac.jp

【注】本募集終了後、平成19年4月1日着任予定でプロジェクトDは2名、Eは1名を本学経費で追加募集する予定である。

各研究プロジェクトの詳細は、<http://www.srp.kyushu-u.ac.jp/ssp/pagell.html> をご参照下さい。